



●当日は最大32センチにとどま
つたが、40〜50センチ級の期待
が高まる乗っ込み期は間もなく



▲この日は熱海の街並みを間近に望む280メートルダチを流した

東伊豆宇佐美港出船 ポイントには港からすぐ 東伊豆のアカムツ釣り

撮影◎訓覇 啓雄



●海面でのバラシもあるからタモで取り込むのが無難



●ハリのチモトには定番のマシュマロボールやケイムラフロードパイプ



●通称スマヤキも交じる



●強い引きの魚の正体はメダイ

●あきらめずにタナを取り直して食べた会心の1尾



▲ホタルイカは持参、もしくは予約時に頼むと有料で用意してくれる



▲船の支給エサはサバの切り身

●釣りは置き竿主体。アタリがきたら手持ち竿で巻き上げてバラシ軽減



人気ターゲットのアカムツは近年各地でポイントの開拓が進んでいるが、東伊豆エリアは古くから好釣り場として知られている。
周年のアカムツを看板に掲げる宇佐美港・直正丸での取材日は、航程20分ほどの熱海沖280メートルダチを狙い、釣果は25〜32センチ級が船中4尾でトップは2尾。釣り人3名全員が型を見ることができた。

急深な地形を要する東伊豆エリアは、岸から近い釣り場で気軽にアカムツが狙えるのも魅力。これから迎える夏の乗っ込み期になればさらなる釣果アップも望めるだろう。
(詳細は58ページ参照)



●東伊豆宇佐美港 直正丸・島田 正則船長